**第9課　神様の定めと予定**2018年3月4日(主日)

◎ 賛美(一同) : 韓日455番、韓日432番

◎ 信仰告白(一同) :使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : エペソ1章11節

◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 最後に

◎ 今日のマナ

人々は各自が独立した存在として認められ、自分の人生を自ら決定できることを願います。だからこの世界が神様の主権によって動かされるという話を不便なことだと考えます。しかし、私たちの現実を見てみてください。人生で一番重要な問題の中で、自分で決定したことがどれほどあったでしょうか？私たちが認めようが、そうでなくても、家族、人種、性別、あらゆる才能など本当に重要な問題はすでに誰かによって決められています。そして信仰の目が開いたならば、それがどれほど大きな恵みであるかが分かります。

**1.神様の定め**

‘定め’は、全てのことに対し、神様が先に決定された計画を意味します。ここで全てのこととは言葉の通り創造の初めから終末の時まで存在する全てのことを意味します。

神様は物質世界で起こる全てのことを定められました。神様は自然世界で起こる生成と変化と消滅の過程を定められ、目に見えない細かい領域で広がった宇宙の働きまで定められました。人間の歴史と制度の中にも神様の計画があり、それを成していかれる方も神様であられます。サイコロやくじ引きのような私たちの目には偶然の様に見える領域も神様の定めからは抜け出ません。

それだけでなく霊的、道徳的世界で起こる全てのことと、人間と世界の救いを定められました。

人の心の中で起こった感情の変化と霊的な問題と解決まで神様が定められたことです。聖徒の聖さと救いのためのイエス・キリストの十字架の働きと聖霊の働きまでも神様が定めに含まれています。

“私たちは彼にあって御国を受け継ぐ者ともなったのです。私たちは、みこころによりご計画のままをみな実現される方の目的に従って、このようにあらかじめ定められていたのです。”(エペソ1:11)

神様の定めはご自身の創造世界に向かう永遠の昔から変わらない計画です。人は計画を立てた後にも頻繁に変更し計画通りにことを成すことに失敗したりもします。しかし神様の定めは決して変わったり、失敗したりしません。神様にはどんなことも偶発的や偶然ではありません。

神様はこのことは、神様の無限で完全なる知恵によってなされました。神様は主権的であり、全知全能であられます。ですから、神様が決定された全てのことは完璧に成就されるしかないのです。何であっても、誰であっても神様の定めを止めることはできません。

神様の定めには目的があります。それはまさに神様が栄光を受けられることです。神様はご自身の計画とみこころの中で定められたことを通して栄光を受けられます(ローマ11：36、イザヤ48：11)。

このような神様の定めには、被造物の幸せもまた含まれています。神様の栄光と被造物の幸せは互いに噛み合っています。全ての被造物は神様をあがめる時、一番幸せであるように創られたからです。

神様が全てを定められるということを私たちが認識する時に、神様をより信頼し、頼り、愛することができます。

**2.神様の予定**

定めが全ての宇宙と万物の中で適用される神様の一方的な計画ならば、予定はその中でも特別に人間の救いと関係した計画を意味します。

予定は目的も定めと同じで、神様の栄光です。神様は絶対主権を通して人間を救われることによって、栄光を現わされます。エペソ1章6節は“それは、神がその愛する方によって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。”と言います。

定めは対象が全宇宙万物と被造物全体であったならば、予定の対象は被造物の中でも理性的な存在に局限されます。全ての人間、御使い、サタンを含む悪の勢力までも神様の予定の対象に属します。御子であるイエス・キリストは予定を成就される主体であられながら同時に、肉を着てこの地に来られることによって予定の対象になられました。

神様は人間を創造される前にすでに人間が罪によって堕落することを知っておられました。したがって神様は創造の前にすでにイエス・キリストを通した人間の贖いの計画を予定されました。神様は創造の前に贖う者を先に予定されました(ローマ8：29)。ここで私たちが覚えるべきことがあります。まさに神様が人間を贖われたのは、人間の何かの功労や資格の故ではなく、全的に神様の主権的な決定であったということです。

そして神様は救おうと先に定めた全ての人々を召されます(ローマ8：30)。神様は定められた時にイエス・キリストを通して予定された者たちを呼び、死から救いに至るようにされます。この過程で罪人の悔い改めとイエス・キリストを救い主をして受け入れることが起こります。神様は永遠の昔から選ばれた人々を義と認めることを予定されました。これは選ばれた人々が本当に義となったのではなく、神様が恵みによって義と認めてくださる義認の過程です。これを通して選ばれた者たちは神様の子供となる特権を得るようになります(ヨハネ1：12、ローマ8：15～17、29)。

神様は贖った者を、最終的に栄光を与えてくださいます(ローマ8：30)。聖徒たちは罪と死の勢力から完全に解放され救いの完成に至るようになります。聖徒は死と共にたましいが栄光を受けるだけでなく、肉体も霊的な体としてよみがえるようになります。

私たちがこの時間、神様のみことばを分かち合い、恵みの中に住まうことは全て神様が主権的に私たちを選んでくださったからです。その選択がなければ、誰も救いの恵みを受け取ることはできません。神様の定めと予定の恵みに感謝し、その目的に従って神様に栄光を帰して生きて行きましょう。

◎ マナの要約

<神様の定め>

1. 神様は完全なる知恵と力によって永遠の昔から永遠先まで全てのことを定められました。

2.神様がすべてを定められることを認識する時、神様をより信頼し、頼ることができます。

<神様の予定>

1. 神様は絶対主権を通して人間を救うことにより、栄光を現わされます。
2. 私たちが救われて神様の子供になったことは全て予定される神様の恵みです。

◎ 日々の中のマナ

<隣の人とあいさつ>

1. 神様が全てを定められ、成就されました。

2. 私たちが救われたのは全て神様の恵みです。

<祈り>

1.人生に解決できていない問題に対する答えが神様にあることを信じて主に委ねる祈りをしましょう。

2.私たちを呼び、義と認め、栄光を受けられる神様の恵みに感謝の祈りをささげましょう。

<とりなしの祈り>

となりの人と祈りの課題を分かち合い、共に祈りましょう。